

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	卒業研究 (Graduation Thesis)		
ナンバリングコード	P41703	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	6	配当学年 / 開講期	4年 / 通年
必修・選択区分	必修		
授業コード	P170301	クラス名	赤星研究室
担当教員名	赤星 哲也		
履修上の注意、 履修条件	卒業研究着手条件を満たしていること。 卒業研究は学生が自ら取り組む知的活動です。積極的、かつ主体的に取り組んでください。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	自然言語処理及び演習、研究ゼミナールA・同Bで使用した資料 CiNii等の学術データベース		
関連科目	研究ゼミナールA、研究ゼミナールB、自然言語処理及び演習、その他の専門教育科目		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	卒業研究は、情報メディア学科で学んだ学修内容を集大成する科目です。これまで学修してきた専門知識を背景に、研究テーマを設定し、研究方法を選び実践し、結果をまとめ、考察するという一連の研究活動を自らの力で行っていきます。
授業の概要	赤星研究室では「言語」を工学的視点(自然言語処理)、心理学的視点(文章産出・文章理解)の2つの側面から研究しています。各自、興味のある研究テーマを選び、研究に取り組んでいきます。最終的に、研究成果を卒業研究論文にまとめます。週に1回以上、研究室で研究報告会を開き、各自がそれぞれ取り組んでいる研究テーマについて報告・発表を行い、全員で討論を行います。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 対話・議論型授業(グループディスカッション・ディベート) 他
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	・企業の研究所(トッパン・ムーアシステムズ株式会社)にて、自然言語処理分野の研究開発(ハイパーテキスト)に従事。 ・テクニカルライターとして、コンピュータ関連技術書6冊出版。コンピュータ関連商業誌に記事多数寄稿(学研、日刊工業新聞社、アスキー他)。地元新聞紙にコンピュータ関連記事連載(大分合同新聞 2連載・計218回)。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	① 研究報告会用の発表資料を作る。 ② 研究テーマについて追求し、先行研究の収集を行う。		10点	10点
【知識・理解】	① 先行研究を把握している。 ② 研究を行うために必要な知識を理解し、研究テーマに応用できる。			10点
【技能・表現・コミュニケーション】	① 最終的な研究成果を卒業研究論文の形にまとめる。 ② 最終的な研究成果を第三者に対しわかりやすく発表する(中間発表、口頭試問、最終発表)		30点	10点
【思考・判断・創造】	① 研究計画を立てる。 ② 研究計画にもとづき研究を進め、各期限内に成果をまとめる。(研究テーマ、中間発表、口頭試問、最終発表)		20点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
提出物の評価は以下の基準で評価し、60点満点に換算して評価を行う。卒業論文については、適宜、提出を求め、添削・講評する。 [Sレベル]到達目標を満たしている。 [Aレベル]到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]到達目標を一部満たしている。 卒業研究への取り組み姿勢、研究報告会への出席と討論への積極的な参加、提出物の期限内提出、学修態度を総合的に判断し、無形成果として40点満点で評価する。以上を合計した評点(100点満点)をS~Eとして評価する(各ランクについては学生便覧を参照)。	

○その他	
(参考) 予習・復習の時間設定は、次の計算に依ります。 6単位×45時間=270時間 卒業研究に取り組む期間:4月~2月前半=10.5ヶ月 従って、270÷10.5ヶ月=26時間/1ヶ月(または、13時間/0.5ヶ月)	
但し、本来、研究活動の評価とは活動にかけた時間の多寡ではなく、研究成果そのものに対する評価であることから、上記の時間はおよその目安と考え、各自の研究状況に応じて十分な時間を確保し、研究に取り組んでください。	

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：卒業研究 (Graduation Thesis) 担当教員：赤星 哲也	授業コード:P170301
学修内容		
1. (4月前半)研究計画書の作成、先行研究の調査、研究報告会の資料作成・発表 先行研究の調査、研究室内の研究報告会を通して、卒業研究テーマを考えます。並行して、卒業研究テーマにそった研究計画書を作成します。		
予習：先行研究の調査、研究計画書の作成、研究報告会用資料の作成		(約6.5h)
復習：先行研究の調査、研究計画書の作成、研究報告会用資料の作成		(約6.5h)
2. (4月後半)研究計画書の作成、先行研究の調査、研究報告会の資料作成・発表 先行研究の調査、研究室内の研究報告会を通して、卒業研究テーマを決定します。並行して、卒業研究テーマにそった研究計画書を作成します。		
予習：先行研究の調査、研究計画書の作成、研究報告会用資料の作成		(約6.5h)
復習：先行研究の調査、研究計画書の作成、研究報告会用資料の作成		(約6.5h)
3. (5月前半)中間発表会の準備、先行研究の調査、研究報告会の資料作成・発表 先行研究の調査を継続しながら、研究計画書にもとづいて、中間発表会に向けて卒業研究に取り組みます。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：自然言語処理及び演習、研究ゼミナールA・同Bで使用した資料		(約6.5h)
復習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、中間発表会資料の作成		(約6.5h)
4. (5月後半)中間発表会の準備、先行研究の調査、研究報告会の資料作成・発表 先行研究の調査を継続しながら、研究計画書にもとづいて、中間発表会に向けて卒業研究に取り組みます。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、中間発表会資料の作成		(約6.5h)
復習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、中間発表会資料の作成		(約6.5h)
5. (6月前半)中間発表会の準備、先行研究の調査、研究報告会の資料作成・発表 先行研究の調査を継続しながら、研究計画書にもとづいて、中間発表会に向けて卒業研究に取り組みます。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、中間発表会資料の作成		(約6.5h)
復習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、中間発表会資料の作成		(約6.5h)
6. (6月後半)中間発表会の準備、先行研究の調査、研究報告会の資料作成・発表 先行研究の調査を継続しながら、研究計画書にもとづいて、中間発表会に向けて卒業研究に取り組みます。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、中間発表会資料の作成		(約6.5h)
復習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、中間発表会資料の作成		(約6.5h)
7. (7月前半)中間発表会の準備、先行研究の調査、研究報告会の資料作成・発表 先行研究の調査を継続しながら、研究計画書にもとづいて、中間発表会に向けて卒業研究に取り組みます。中間発表会用の発表資料を作成します。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、中間発表会資料の作成		(約6.5h)
復習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、中間発表会資料の作成		(約6.5h)
8. (7月後半)中間発表会、研究報告会の資料作成・発表 これまでの研究成果をまとめ、中間発表を行います。中間発表に対する意見をもとに、研究計画書の修正や、今後の卒業研究の方向性について確認します。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：研究報告会用資料の作成、中間発表会資料の作成		(約6.5h)
復習：研究計画書の修正、今後の卒業研究の方向性についての確認		(約6.5h)

○授業計画	科目名：卒業研究 (Graduation Thesis) 担当教員：赤星 哲也	授業コード:P170301
学修内容		
9. (8月)卒業研究論文の作成、先行研究の調査、研究報告会の資料作成・発表 先行研究の調査を継続しながら、修正した研究計画書にもとづいて、これまで取り組んできた卒業研究の内容を卒業研究論文の形にまとめていきます。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、卒業研究論文の執筆		(約13.0h)
復習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、卒業研究論文の執筆		(約13.0h)
10. (9月)卒業研究論文の作成、先行研究の調査、研究報告会の資料作成・発表 先行研究の調査を継続しながら、研究計画書にもとづいて、これまで取り組んできた卒業研究の内容を卒業研究論文の形にまとめていきます。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、卒業研究論文の執筆		(約13.0h)
復習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、卒業研究論文の執筆		(約13.0h)
11. (10月)卒業研究論文の作成、先行研究の調査、研究報告会の資料作成・発表 先行研究の調査を継続しながら、研究計画書にもとづいて、これまで取り組んできた卒業研究の内容を卒業研究論文の形にまとめていきます。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、卒業研究論文の執筆		(約13.0h)
復習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、卒業研究論文の執筆		(約13.0h)
12. (11月)卒業研究論文の提出 卒業研究論文を完成させ、提出します。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：研究報告会用資料の作成、論文の執筆・提出		(約24.0h)
復習：研究報告会用資料の作成		(約2.0h)
13. (12月)口頭試問 卒業研究論文の内容について、口頭試問を受けます。口頭試問での結果をもとに、研究計画書の修正や、今後の卒業研究の方向性について確認します。卒業研究をさらに進め、卒業研究論文の修正を行います。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：研究報告会用資料の作成、口頭試問用発表資料の作成、発表練習		(約24.0h)
復習：研究報告会用資料の作成		(約2.0h)
14. (1月)卒業研究論文の修正、先行研究の調査、研究報告会の資料作成・発表 先行研究の調査を継続しながら、研究計画書にもとづいて、卒業研究をさらに進め、卒業研究論文の修正を行います。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、卒業研究論文の執筆		(約13.0h)
復習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、卒業研究論文の執筆		(約13.0h)
15. (2月)最終発表会、研究報告会の資料作成・発表 卒業研究をまとめ、最終発表会で発表します。最終的な卒業研究論文を完成させ、提出します。研究室内の研究報告会で、卒業研究の成果を報告し討論します。		
予習：先行研究の調査、研究報告会用資料の作成、卒業研究論文の執筆		(約24.0h)
復習：研究報告会用資料の作成		(約2.0h)
16.		